

舞子六角堂主人呉錦堂(ごきんどう) と西区神出町小束野(こそくの)の開

発表 橋 雄三 会員



移情閣(孫文記念館) 画像は孫文記念館所蔵

「舞子の六角堂」と親しまれてきた移情閣(現在は孫文記念館として使用)ですが、その主人呉錦堂(1855～1926)については、名前以外は、あまり知られておりません。

呉錦堂は、中国寧波出身で、神戸を中心に活躍した華僑です。神戸とのつながりに留意し、お話しいたします。

1. 神戸の内海岸通りに店を構えるまで
2. 呉錦堂の事業

燐寸の輸出・中国での販売、海運業、
鐘紡監査役就任、東亜セメント創立ほか

3. 神戸市西区神出町小束野の開拓
4. 呉錦堂遺聞

(1)舞子駅周辺の土地所有

(2)武藤山治との親交

(3)阪神間モダニズムの好例、籠池通り「呉錦堂邸」

画像は呉伯瑄氏提供

(4)獅子文六『バナナ』に描かれた呉錦堂並びに移情閣

(5)移情閣の設計者はだれ？

—イギリス人建築家ハンセルの弟子横山栄吉！？—

(6)1927年、蒋介石来神—籠池通りの呉啓藩(呉錦堂の長男)邸を経て、宋美齡の母が滞在する有馬温泉へ—

ほか



主催 兵庫歴史研究会
会場 兵庫県民会館 1202号室 (変更もあり)
開催日時 平成28年8月7日(日) 13:30～15:30
参加費 会員 300円 一般 500円 (申込み不要)
問合せ先 Ⅸ (0794) 85-0525 阪本方